エコアクション21

レンティアグループ
環境経営レポート2022

Koyou Rentia
Creative Rental Company

- 対象期間　：2022年1月1日～2022年12月31日
- レポート発行　：2023年6月1日

目次

１．　レンティアグループ事業概要
２．　環境ポリシー
３．　環境活動推進体制
４．　環境活動取組内容
５．　環境経営目標（環境負荷）の2022年度実績評価（前年度比較）
６．　環境負荷取組等の推移
７．　環境経営中期目標（環境負荷）
８．　独自環境経営目標（各事業会社）の実績評価
９．　次年度の環境経営目標（環境負荷）
10．次年度の独自環境経営目標（各事業会社）
11．その他の環境取組み
12．主な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無
13．代表者による全体評価と見直し

１．レンティアグループ事業概要

●認証登録事業者

事業者名	コーユーレンティア株式会社
本社所在地	〒105-0004　東京都港区新橋6-17-15 菱進御成門ビル6F
設立	1970年(昭和45年)10月
代表者	代表取締役社長　梅木 孝治
資本金	8億7,896万円
売上高	172億7,407万円 (2022年12月期 単独)
従業員	379名 (2022年12月末 単独)
事業内容	*FF&Eレンタル業。 建設業界・不動産業界・イベント業界をはじめ、国内外の企業向けにFF＆Eをレンタル。 *furniture, fixtures and equipment （家具、什器、備品）

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
®環境省
エコアクション21
認証番号0004836

●グループ事業会社紹介

レンタル関連事業

●コーユーレンティア株式会社

レンティアグループが展開する「FF＆Eレンタル業」の中核事業会社。
建設現場事務所や不動産販売センター、各種イベント、一般企業向けレンタルなど、多彩なマーケットに対応。
オフィス家具を始め、備品や家電品、OA機器など、多種多彩な商品を揃え、空間プランニングを含めたレンタルのトータルソリューションをご提供しています。

●コーユーロジックス株式会社

日本全国に物流拠点を整備し、レンタル備品の配送、保管を請け負う事業会社。
独自の在庫管理と輸送システムを構築し、お客様のご要望に「ジャストタイム」でお応えしています。
またレンタル備品のメンテナンスやクリーニング、修理なども担っています。

●コーユーイノテックス株式会社

オフィスなどのIT環境整備と、OA機器の保守点検サービスを提供する会社。
レンタルのトータルソリューションの一環として提供するITネットワーク構築や情報機器の調達を始め、各種OA機器の保守点検・修理、アフターサポートなどICT技術を活かしたサービスを実施しています。

スペースデザイン事業

●ONEデザインズ株式会社

マンションのモデルルーム、販売センターにおける設計・施工・デザイン・インテリアコーディネート業務からご契約者の方々へのインテリアコンサルティングサービスなど様々なニーズに対応した快適空間作りに取り組んでいます。

物販事業

●広友物産株式会社・広友サービス株式会社

各種事務機器とインテリア家具の企画・販売を手がける事業会社。
オフィス家具や備品などを調達し、官公庁を中心に販売するとともに、リゾート施設向けのインテリア家具の企画・開発から販売などを行っています。

環境ポリシー

レンタル事業を核として
顧客のニーズにこたえ
環境負荷低減に努め
未来との共生を図る

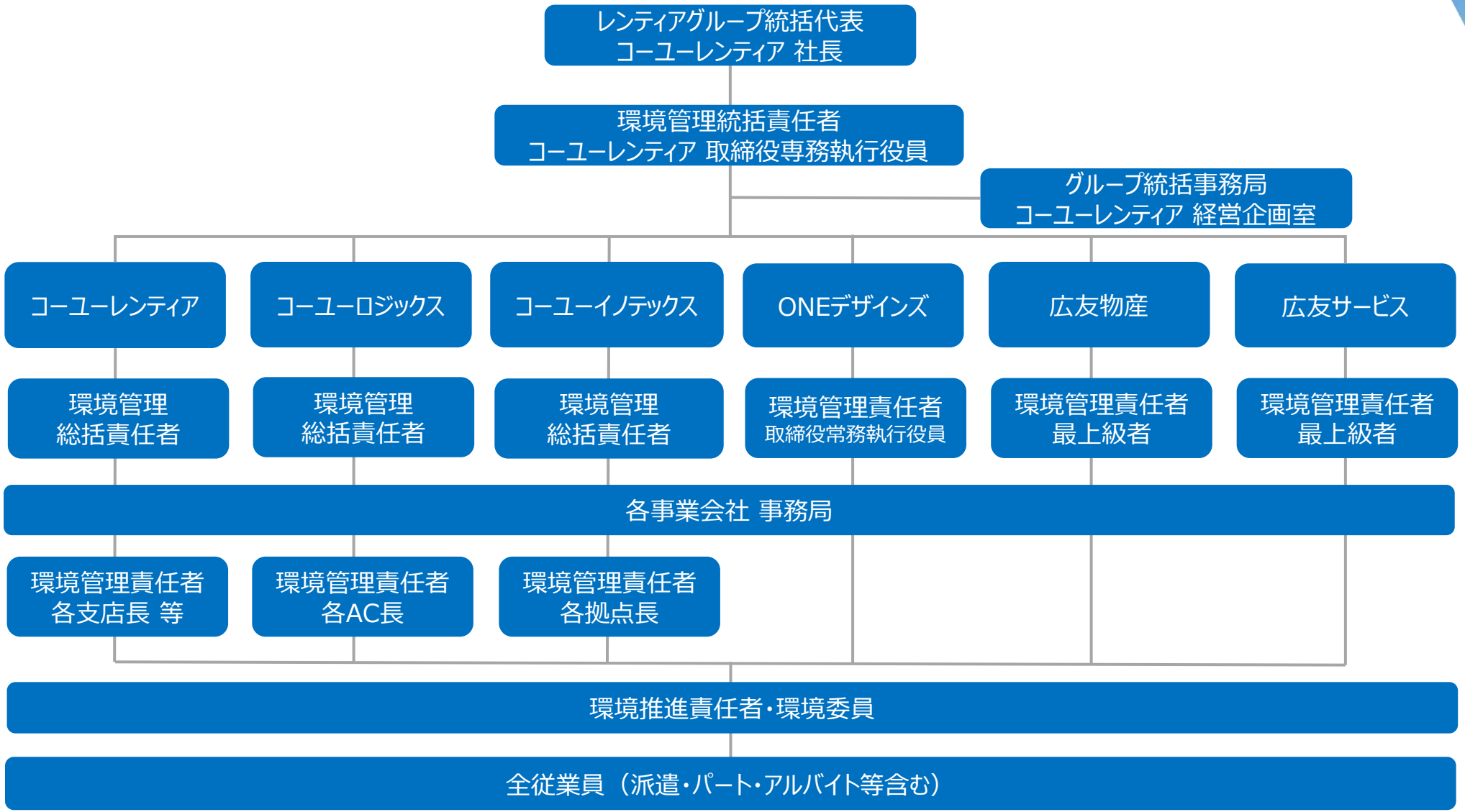
環境経営方針

レンティアグループは　FF＆Eのレンタル・販売を核とした
環境創造型企業として　企業活動及び社員の行動を通して　環境保全に努め
環境に配慮した商品を提供するとともに　環境法令を遵守し
資源節減　環境負荷低減を目指し　継続的改善を図る

2021年1月15日制定
コーユーレンティア株式会社
代表取締役社長　梅木 孝治

３．環境活動推進体制

●対象認証登録範囲：全組織・全活動・全従業員



３．環境活動推進体制

●環境委員等の任務

役職	地位	役割
環境管理統括責任者	グループ代表の補佐及びグループの環境活動の責任者	全組織の活動全体にわたり環境経営システムの構築運用維持に関する実務を指導監督する。
環境管理統括事務局	環境管理統括責任者の補佐	グループの統制指導及び認証登録の調整
環境管理総括責任者 （レンティアとロジックス及び イノテックス）	会社代表の補佐及び会社の環境活動の責任者	代表者を補佐して会社複数拠点の取組状況を指導監督する。
環境管理責任者 （ONEデザインズ、広友物産）	会社代表の補佐及び会社の環境活動の責任者	代表者を補佐して会社拠点の取組状況を指導監督する。
事業会社事務局（員）	環境管理責任者の補佐	事業会社全体の統制指導及びグループEA21事務局との調整 1　環境方針、中期環境目標の策定 2　環境組織体制の確立 3　会社の年度環境目標と活動計画の作成 4　会社環境関連法規の作成 5　統制拠点の計画及び成果の指導評価 6　会社全体の評価見直し
環境管理責任者（拠点）	拠点の環境活動における責任者	グループ及び事業会社の環境方針・目標を受け、拠点内の取組状況を指導監督する。
環境推進責任者	拠点内の環境取組みに対する統制調整者（実質的な拠点の環境活動のまとめ役）	1　拠点の環境活動の計画・実行・確認評価のまとめ 2　環境委員会を招集して、会の進行・運営を行う 3　期毎の環境負荷実績の分析表を作成して、評価・判定を行う
環境委員	EAの各種取組毎の担当者	環境推進責任者の指示の下、他の委員と協力し、拠点の環境活動を実施する。

４．環境活動取組内容

当グループの環境活動取組内容は以下の通りです。

●CO_2

【電気】
①部分消灯・業務時間以外の消灯
②No残業Dayで使用時間削減
③空調機器の適正な温度設定
【ガソリン】
①エコドライブの推進
②効率的な営業計画の策定
③燃費の良い営業車種の選定

●廃棄物

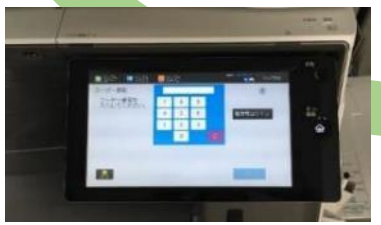
①廃棄区分の明確化
②環境啓発運動の実施
③マイ〇〇の推進

●水

①節水喚起
②洗濯機の効率利用

●コピー用紙削減

①情報セキュリティを考慮した両面使用
②ITツール利用によるペーパーレス
③カウンタ使用によるプリンタ使用削減



●環境教育

①資格受験対策講座（勉強会）の実施
②拠点委員会による資格の受検推進
③環境推進企業の見学

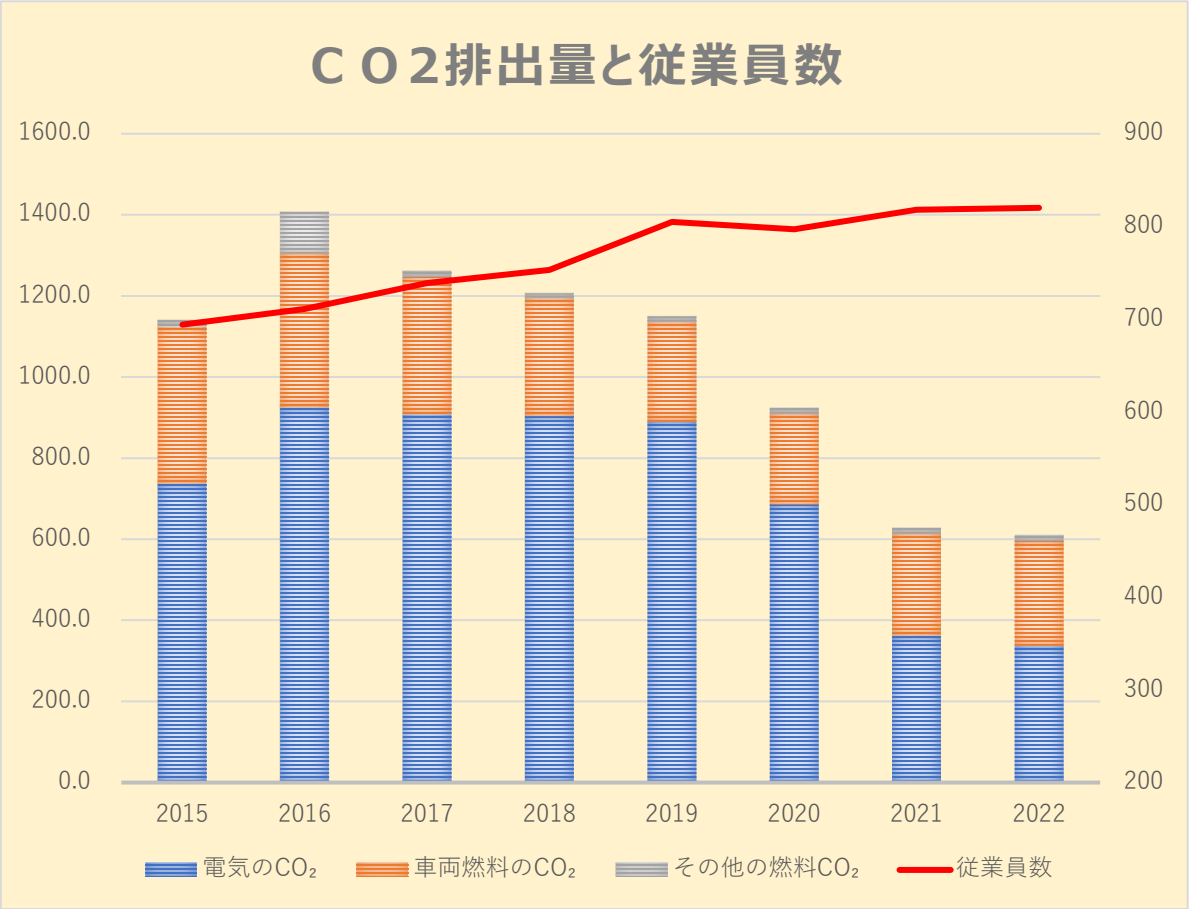
５．環境経営目標（環境負荷）の2022年度実績評価

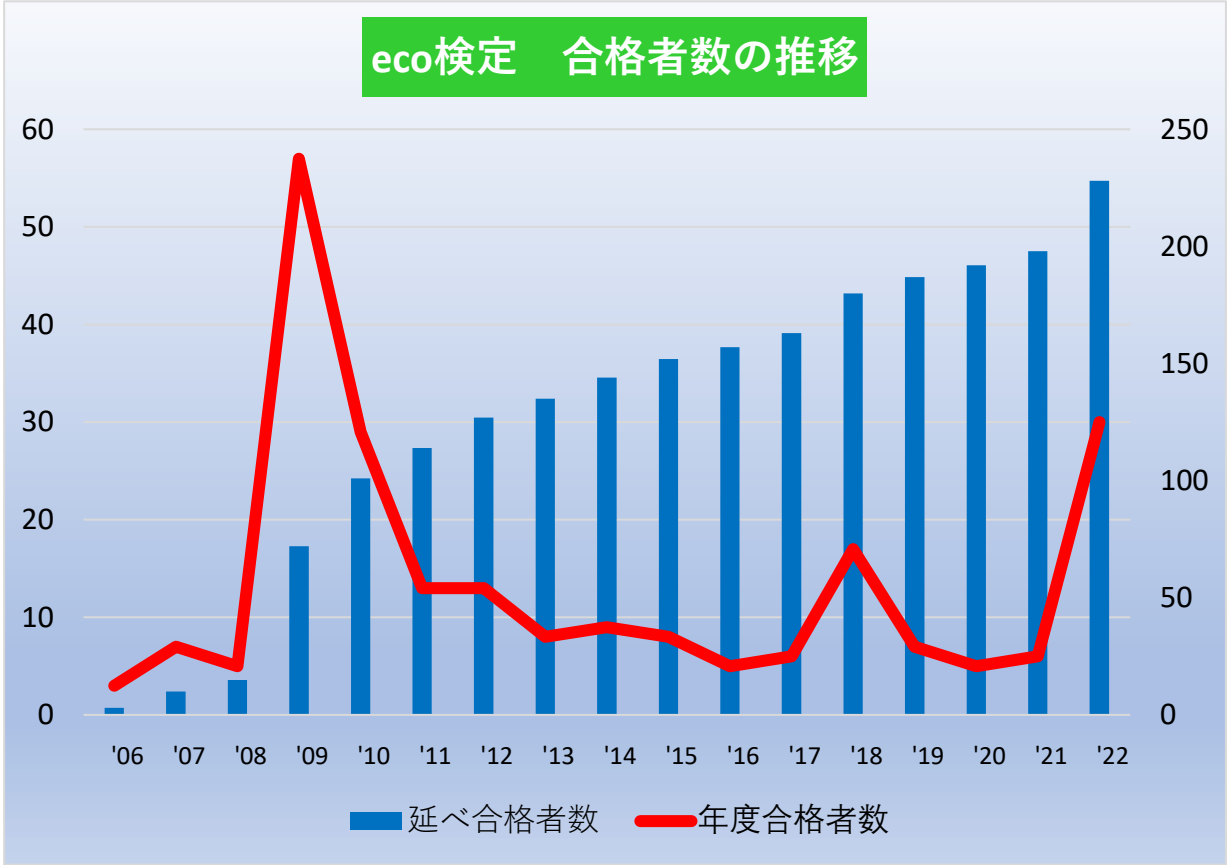
取組項目		単位	2021年度 実績値	2022度目標値 （前年度比）	2022年度実績 (目標値との比較)	評価・分析	
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	1,764	1,746 （▼1.0%）	**1,769** （▲1.3%）	×	コロナ禍前に設定した目標数値であったため、未達成が多くなった。 コロナ禍も収まりつつあり、主として以下の活動が活発になり、目標未達成の項目があった。 ・対面での営業活動 ・社有車の使用 ・業務増による残業等の増加 ・事務所の新設および移転
	ガソリン使用量	kℓ	102	99 （▼3.0%）	**105** （▲6.1%）	×	
	CO_2排出量	t－CO_2	629	598 （▼5.0%）	**610** （▲2.0%）	×	
水使用量		㎥	5,799	5,741 （▼1.0%）	**4,614** （▼19.6%）	○	
廃棄物排出量		t	1,368	1,368 （±0%）	**1,460** （▲6.7%）	×	
コピー用紙使用量		万枚	291	288 （▼1.0%）	**315** （▲9.4%）	×	
化学物質使用量			化学物質使用量の把握と適正な管理		―	○	適正に管理ができた
エコピープルの育成 （eco検定合格者数）		人	6	10	**30**	○	受験対策講座を開催し、大幅増となった

＊電力は平成27年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数を使用
北海道電力:0.676 東北電力:0.559 東京電力:0.491 中部電力:0.482 関西電力:0.496 中国電力:0.700 四国電力:0.669 九州電力:0.528 ｵﾘｯｸｽ:0.360

６．環境負荷取組等の推移

前年度比ではCO2等複数の項目で増加とはなりましたが、過去実績としてはコロナ禍で年度ごとの増減はあったものの、事業拡大し従業員数も増加する中、 特にCO2排出量は2018年と比べて約半減できました。また、eco検定の合格者数も順調に増加しており、引き続き、環境負荷削減活動を継続していきます。





７．環境経営中期目標（環境負荷）

取組項目		単位	中期基準年度	年度目標（基準年度比）			
			2022年度実績	2023年度目標値	2024年度目標値	2025年度目標値	2026年度目標値
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	**1,769**	1,751（▼1.0%）	1,734（▼2.0%）	1,716（▼3.0%）	1,698（▼4.0%）
	ガソリン使用量	kℓ	**105**	103（▼2.0%）	101（▼4.0%）	99（▼6.0%）	97（▼8.0%）
	CO_2排出量	t－CO_2	**610**	586（▼4.0%）	561（▼8.0%）	537（▼12.0%）	512（▼16.0%）
水使用量		㎥	**4,614**	4,568（▼1.0%）	4,522（▼2.0%）	4,476（▼3.0%）	4,429（▼4.0%）
廃棄物排出量		t	**1,460**	1,445（▼1.0%）	1,431（▼2.0%）	1,416（▼3.0%）	1,402（▼4.0%）
コピー用紙使用量		万枚	**315**	312（▼1.0%）	309（▼2.0%）	306（▼3.0%）	302（▼4.0%）
化学物質使用量			化学物質使用量の把握と適正な管理				
エコピープルの育成（eco検定合格者数）		人	**30**	30	30	30	30

８．独自環境経営目標（各事業会社）の実績評価

事業会社	2022度目標項目	目標値	2022年度 実績	評価
コーユーレンティア	レンタル品AB製品の売上向上	前年度比 5.3%以上増加	17.9%増加	○
コーユーロジックス	処分品の再商品化	前年度比 4.7%以上増加	18.0%増加	○
コーユーイノテックス	レンタル品AB製品の売上向上	前年度比 20%増加	13.4%増加	△
ＯＮＥデザインズ	①レンタル品AB製品の売上向上 ②ホームステイジング事業の納品件数向上 （ONESで保有しているFF&Eを使ったモデル）	①前年度比 1%増加 ②前年度比 1件増加	①2.1%減少 ②23件→55件 （139.1%増）	△
広友物産・広友サービス	抗ウイルスコーティングサービスの展開	前年度比 30%減	67.9%減	×

＊レンタル品ABはコーユーレンティアが複数回レンタルする主力商品

各事業会社は、取り扱う製品やサービスの特性を活かした目標を掲げて環境経営に取り組みました。感染症の落ち着きにより抗菌・抗ウイルスコーティングサービスの売上は減少し、全事業会社目標達成とはならなかったものの、全体的には営業活動を活発化させ、主に法人マーケットの開拓により概ね目標を達成することができました。今後もグループ基本理念である「三方よしの精神」のもと、ステークホルダーに満足していただくための目標を選定し、その達成に向けて尽力していきたいと思います。

９．次年度の環境経営目標（環境負荷）

取組項目		単位	基準値（2022年度実績）	目標 2023年度目標値	2023年度の取組み（計画）
二酸化炭素の削減	電力使用量	MWh	1,769	1,751（▼1.0%）	・従前からの取り組み徹底（継続実施） ・テレワーク等による更なる削減 ・再エネ電力への切り替え ・太陽光発電パネルの設置 ・eco検定勉強会の実施、取得の推進
	ガソリン使用量	kℓ	105	103（▼2.0%）	
	CO_2排出量	t－CO_2	610	586（▼4.0%）	
水使用量		㎥	4,614	4,568（▼1.0%）	
廃棄物排出量		t	1,460	1,445（▼1.0%）	
コピー用紙使用量		万枚	315	312（▼1.0%）	
化学物質使用量			化学物質使用量の把握と適正な管理		
エコピープルの育成（eco検定合格者数）		人	30	30	

10. 次年度の独自環境経営目標（各事業会社）

事業会社	2023年度目標項目	目標値
コーユーレンティア	統制目標：レンタル品AB*製品の売上向上 任意目標：各拠点による	各拠点による
コーユーロジックス	処分品の再商品化	前年度比 3.6%増加
コーユーイノテックス	会社全体：レンタル品AB製品の売上向上 拠点毎：各拠点による	前年度比 10%増加 各拠点による
ＯＮＥデザインズ	①レンタル品AB製品の売上向上 ②ホームスティジング事業の納品件数向上 （ONEデザインズで保有しているFF&Eを使ったモデル）	①前年度比 1%増加 ②前年度比 1件増加
広友物産・広友サービス	抗ウイルスコーティングサービスの展開	受注件数 20件以上

11. その他の環境取組み

●創業60周年記念樹 育成状況

レンティアグループでは2017年5月に創業60周年を記念して、東京都檜原村に15本のヒノキ苗を植樹しました。現在（2022年8月）は、ほとんどが300cmを越え、当初は高さ40cm程の苗木も、見上げるほど大きくなっていました。プロジェクトが完了する30年後に美しい森林を残すため、今後も下草刈り、枝打ち等の整備を実施していきます。

グループと共に成長するヒノキが楽しみです。

●廃棄処分予定商品のアップサイクル

まだまだ使えるにもかかわらず今のトレンドに合っていないことから、レンタルの稼働率が低下し、中古需要も乏しく廃棄処分せざるを得ない“もったいない”ソファをリメイクし、生まれ変わらせました。今後も積極的に【アップサイクル】に取組みます。

テーブルに合う高さに調整し、生地も張り替え

●東北支店「エコにこマイスター」に認定

拠点所在地である仙台市が、ごみの減量・リサイクルの推進等に取り組む市内事業者を「仙台市環境配慮事業者（エコにこマイスター）」として認定し、事業者による環境配慮の取組みを促しています。

2022年4月、必要な環境配慮活動等を実施し、認定を受けました。今後はワンランク上のゴールドマイスターを目指し、活動を続けていきます。

認 定 証

エコにこマイスター
コーユーレンティア株式会社
東北支店 様

認定番号 M2006

仙台市環境配慮事業者認定制度実施要綱に基づき、貴社を、ごみの減量・リサイクルの推進等に積極的に取り組む環境配慮事業者「エコにこマイスター」として認定します。

認定期間 2022年3月31日まで

2022年4月1日

仙台市環境配慮事業者認定審査会
委員長 矢吹 義輝

●環境配慮素材のファイルを採用

お客様にお渡しするファイルを、石灰石を主原料とする「ストーンペーパー」を使用した「ストーンファイル」に切り替えました。

以前使用していた紙と違い、森林や水資源の保護等、地球温暖化対策に貢献できる素材です。

コーユーレンティア株式会社

本社：〒105-0004 東京都港区新橋6丁目17番15号 菱進御成門ビル6階　Tel：03-6758-3500　Fax：03-6758-3502　https://www.koyou.co.jp

ストーンファイルとは？

木を伐採しません

ストーン紙は、原料に木材チップやケナフなどを一切使用しないため、紙の代替としてストーンペーパーを使用する事で貴重な森林資源が保護出来ます。

廃棄物は出ません

ストーン紙の製造には、樹脂と石の粉（炭酸カルシウム）と電力を使うだけで、乾燥や洗浄といった製造プロセスが無いため、廃水や排気ガスを排出することはありません。

水資源を保護します

ストーン紙は製造時に水で洗浄するプロセスが一切なく、強い酸やアルカリ、漂白剤を必要としません。そのため製造時の廃水排出の問題もなく、河川や海を汚染することもありません。

このファイルは木材パルプを使用せず、石（石灰石）を主原料としたストーン紙を使用しております。森林資源・水資源保護、CO_2地球温暖化対策に貢献できます。

11. その他の環境取組み

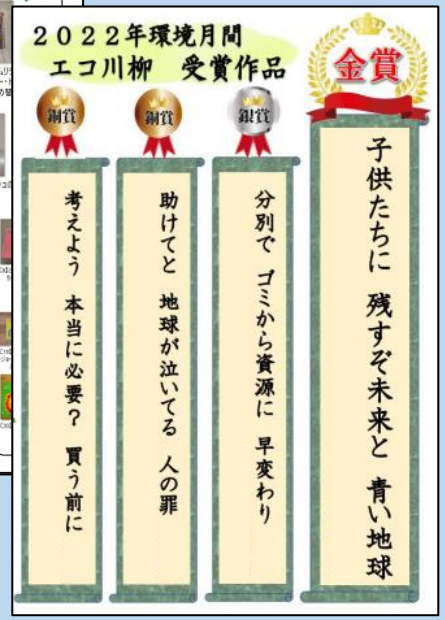
●2022環境月間

社員の環境問題に対する意識の向上と活動の活性化を促す目的で、2018年6月より全社員を対象とした環境取組みである「環境月間」を実施しています。多くの活動報告がある中から、グループ代表（コーユーレンティア社長）による選考が行われ、金・銀・銅賞およびベスト〇〇賞に計8つの活動が選ばれました。

金賞は【社内フリーマーケット】の実施で、データ化しやりとりが減るように工夫されていることが大変評価されました。

その他、拠点メンバー参加率100%や、独自にエコ川柳を募集・表彰し拠点内で掲示、支援団体へ段ボール14箱分の寄付の実施等、参加社員数も前年より1.5倍となり、活動が広まってきています。

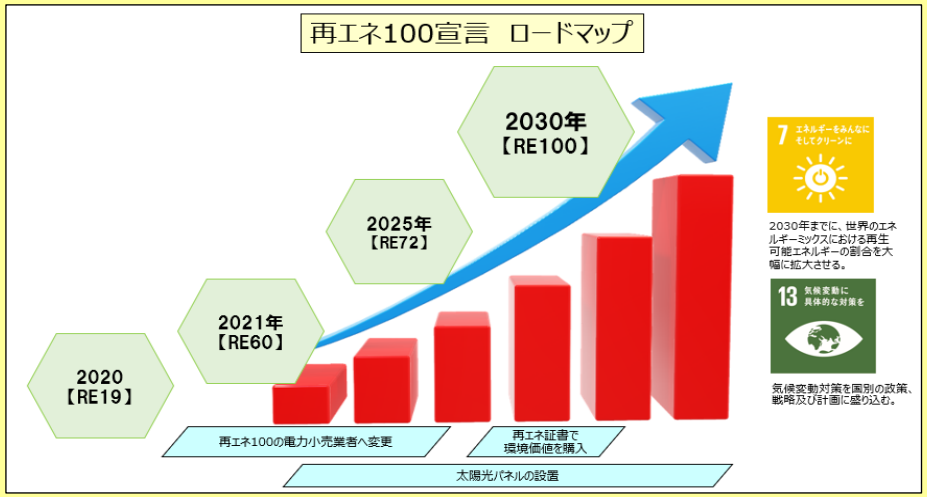
【金賞】社内フリーマーケット



11. その他の環境取組み

●再エネ100宣言 RE Action

使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みである、
『再エネ100宣言RE Action』に参加しました。
2030年までに、事業活動に伴う電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目指します。



太陽光レンタル事業のノウハウ活用により自家発電で推進加速

関東エリアセンター（物流倉庫）屋上

12. 主な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

法律名等	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	判定	該当事業会社
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物の収集運搬・処理の業者への委託	○	全事業会社
	産業廃棄物運搬・処理業者に委託	○	コーユーレンティア コーユーロジックス コーユーイノテックス ONEデザインズ
	産業廃棄物排出事業者としてマニフェスト票の交付及び保管	○	
	収集運搬車両への表示と書類備え付け	○	
	産業廃棄物の処理状況確認努力義務	○	
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	○	
資源有効利用促進法	レンタル商品、販売パソコン	○	コーユーレンティア コーユーイノテックス
容器リサイクル法	過剰包装を避け、簡易包装または繰り返し使用可能な梱包資材の使用	○	コーユーレンティア
家電リサイクル法	エアコン、ブラウン管テレビ、冷蔵庫、液晶テレビ、プラズマテレビ、衣類乾燥機、電気洗濯機のレンタル製品等	○	コーユーレンティア、コーユーロジックス ONEデザインズ
小型家電リサイクル法	パソコン、携帯、DVDプレイヤー等のレンタル製品等	○	コーユーレンティア、コーユーロジックス コーユーイノテックス、ONEデザインズ
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器等（会社所有の業務用エアコン他）の管理者	○	コーユーレンティア、コーユーロジックス ONEデザインズ
化学物質排出把握管理促進法	（当グループはPRTR制度に該当しないが）使用している塗料、シンナー等の把握管理	○	コーユーロジックス

当グループに適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関連機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

13. 代表者による全体評価と見直し

今年度は新型コロナウイルス感染状況が落ち着きをみせはじめ、在宅勤務の継続もしながら、コロナ禍前に近い営業活動を行ってまいりました。そのような中、「環境負荷削減取組」については前年度より二酸化炭素の削減はできたものの、目標数値までには至りませんでした。具体的には、顧客対応のための社有車使用機会・残業の増加等により、前年度比較でみると目標未達成の項目がありましたが、中期3年計画の総括としてはガソリン以外はすべて目標達成し、従業員一人当たりのCO2排出量はおよそ半減させることができました。

また、eco検定合格者数については、受験対策講座の実施によるサポートを行い、社員の受験・合格者増につながりました。

「事業会社毎の独自環境取組」は全事業会社目標達成とはなりませんでしたが、企画立案や顧客サポート等営業活動を活発化させ、主に法人マーケットを開拓した結果、レンタル売上に関連する取組目標は概ね達成する事ができました。

次年度は、再エネ100電力拠点の追加、エコカーの推進、太陽光パネルの増設、ペーパーレスを推進すると共に、各事業会社の独自目標では、引き続き経営により直結した目標設定を検討していきます。

今後も更なる環境負荷削減に努力するとともに、環境関連法令を遵守し、企業として社会へ貢献する為、一層の努力を続けてまいります。

コーユーレンティア株式会社
代表取締役社長
梅木 孝治

Koyou Rentia
Creative Rental Company

● 環境経営レポートに関するお問い合わせ先

コーユーレンティア株式会社
経営企画室　環境推進チーム
TEL:03-6671-6479　FAX:03-5931-4201
URL: https://www.koyou.co.jp/